

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2008. 5. 11 No. 2

北海道ボランティア・レンジャー協議会

自然を観察する

森の中を散策したり時をすごしたりすることは心身のリフレッシュにつながりますが、森をつくっている樹木や野草、鳥や昆虫などについて調べてみようという構えをしていると、より楽しみが広がってきますので、その基本姿勢をまとめてみました。

1. 普通のを大切にす。

季節や時期にその場所で普通に観察できるものをまず対象にして、ありふれた身近な自然こそ大切な観察物である視点を忘れないようにしましょう。ともすると、普通の物より珍しい物を尊重する気風がないでしょうか。自然観察の基本はごく普通にある（あるいはいる）生物をよくわかっていくことが大切なのです。

2. 生物の名前にこだわらない。

ある樹木を見た時、それが何の木であるかということにこだわりすぎて、名前がわからなければ観察がはじまらないというのは本末転倒です。まず観察があります。形を見る、どんな環境下に生息しているのかという「くらし」を見る、それから名前に近づくことが必要です。こうする過程をふむことが印象に残り、結果として徐々に名前がわかってきます。自然観察は生物の名前しらべのみが目的ではありません。

3. 自然のしくみを見る。

水溜まりにたくさんのおタマジャクシが泳いでいます。このおタマジャクシが全部カエルになったら、あたり一面カエルになってしまいます。しかしそうはなりません。秋になって樹木や野草が種をおとしますが、全ての種が発芽することはありません。自然のしくみを推測したり学ぶことも自然観察なのです。もう一つ大切なことは、自然と人間の関係に目をむけていくことです。

地球温暖化と森の生物、地球温暖化対策としての森の働き、私たちの生活と森の関係等々を森のしくみと関連づけてみていきましょう。

北海道環境宣言八つの行動

- ・一人一日10% (1.1 kg) の二酸化炭素を減らそう。
- ・オフィスや事業所の省エネルギーや省資源をすすめよう。
- ・一生の間に、一人30本の植樹運動を実践しよう。
- ・一人一日10% (80%) のごみを減らそう。
- ・食料など資源が地域内で循環する地産地消を進めよう。
- ・北海道をきれいにする清掃活動に参加しよう。
- ・身近な川や湖などを守る環境保全活動に参加しよう。
- ・環境と調和した農林水産業や観光業をすすめよう。

「地球温暖化」を減らそう。



めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減

ヒトリシズカ

野草の中には、アケボノソウ、ニシキゴロモ、オドリコソウ等々優雅な名前のつく花がいくつかありますが、春のこの時期咲き出すヒトリシズカもその一つです。ヒトリシズカはセンリョウ科の多年草で、被子植物の中では原始的な部類に属していて、花びらなどはなく裸花です。花茎の先に雄しべと雌しべだけの花が20個ほどつき、下から咲き上がって白色の穂状花序を伸ばしブラシのような状態になります。根茎は短く横に這い、ここから多数の茎が直立します。ですから、ヒトリシズカは1本だけ咲いていることはほとんどなく、数本がまとまっています。

花穂は結実すると折れ曲がり、恥ずかしそうに葉の下に隠れてしまいます。果実にはアリの好物が付着していて（エライオソームと言います）これを目当てに集まるアリを利用して種子の散布をはかるという報告があります。開き始めた葉に守られているようにさいている頃が一番風情があり、この清楚な様子が義経を偲びつつ頼朝の前で舞を舞った悲劇の愛妾静御前の姿に見立ててヒトリシズカの名がつけられたといわれています。

別名をヨシノシズカとかマユハキソウともよばれています。ヨシノシズカは、やはり静御前の舞姿に例えてつけられた名前ですし、マユハキソウは、白いブラシのような花穂を眉掃きという化粧道具に例えたのでしょう。



カエデ類の花

森の中で、ハウチワカエデ、イタヤカエデ、ベニイタヤ、ヤマモミジなどカエデの仲間が花をつけています。これらの樹種の花はみな雄花と両性花です。そして、花は小さな花がまとまった状態でこれを花序といいます。ハウチワカエデを例にとると花序の中心から咲き始め、順々に側方の花がさいていきます。最初の花が咲いてから最後のつぼみが開くまでの期間は3週間～4週間だそうです。

カエデ類の花のもう一つの特徴は雌雄異熟ということがあり、雌雄の成熟期が異なることです。雌花が先に咲く場合を雌花先熟といいます。雄花が先に咲く場合を雄花先熟といいます。

カエデ類の花を詳しく観察して、雌花や雄花を確認してみましょう。雄花が落ちていたり、雌花の先が小さなプロペラ状（翼果）になっていることに気がきます。

両性花…一つの花の中に雄しべと雌しべを持つ花のことをいいます。

(参考 「ハウチワカエデの雌雄異熟性」 北海道林業試験場研究報告)

観察会の予定

・森の新緑観察会

6月15日(日) 10:00~12:30 集合場所 野幌森林公園大沢口 ふれあい交流館

青葉の森は大変気持ちのいいものです。樹木の葉の形の違いを観察して見ましょう。森の奥から聞こえる野鳥のさえずりから、鳥の名前を推測するのもおもしろいものです。

・北広島レクの森観察会

6月8日(日) 10:00~12:30 集合場所 レクの森駐車場

野幌森林公園であまり見ることのできない野草もあります。この時期フタリシズカやオオキヌタソウに出会えます。